5月20日 金曜日 19日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話(代表)京橋(56)8646
(直通)販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話代表芝(43)1163番
東京 振替貯金口座 170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES
第3101號 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日日刊新聞紙特別扱承認第232號)
(中華郵政台字第637號執照登記為第2類新聞紙・内政內警台新聞紙類內台第0136號)

天気予報 今晩 明日
北寄りの風 くもり

4版

米 戦犯の仮出所許可
B・C級三十八名に

[illegible]は期待している

なお今回の仮出所者を除くと巣鴨には二百廿一名のアメリカ関係BC級戦犯が残っている

仮出所者の氏名

古谷達彦(兵庫、元陸軍軍曹)古川保一(神奈川、元陸軍少将)石沢勝彦(宮城、元陸軍中尉)一戸公哉(東京、元陸軍中佐)葛武雄(鹿児島、元軍属)木田達彦(東京、元海軍大佐)菊地軍太郎(札幌、元陸軍少尉)古閑秋義(山口、民間人)中川実(大阪、元陸軍少尉)小松剣(福島、民間人)嶺野源次(大分、元軍属)岡本均(熊本、元陸軍中尉)[illegible]

出所が許されるものと外務当局では注目され、今後も引続き大量の仮[illegible](愛知、元陸軍上等兵)加藤正[illegible]

各党総裁・委員長と個別会談で成案へ

日ソ交渉開始を控え鳩山首相は超党派的な外交懇談会を設け、日本側の要求案をまとめたいと言明したが、同問題について根本官房長官は十九日午前の記者会見で「各党総裁委員長の個別会談で要求案を求めたい」と次のように語り、とくに鳩山・緒方会談に重点をおいて話合いたいと言明、注目された

一、首相が外交懇談会を提唱したが、これは重光外相が以前からもっていた腹案であり、政府のかねてからの構想であった、各党の外交専門家が一堂に会して懇談することになると討論会的になる恐れがあるので、まず幹事長、書記長会談によって下話しを行い、さらに総裁あるいは委員長会談を個別に開き、各党の意見を取入れ、日ソ交渉に際しての要求案をまとめたい

一、要求案は超党派的に作成したい、とくに自由党との折衝に重点をおいて話合い岸・石井両幹事長会談で自由党側の意向を打診、その結果によって鳩山・緒方会談で保守党としての要求案をまとめ、できれば本予算案および恩給法改正案など懸案問題も同時に話合いたいと期待している

根本長官談
日ソ交渉のわが要求案

日ソ交渉には異議なし
米大使言明

米陸軍参謀総長に任命され六月上旬帰米するテイラー国連軍司令官はアリソン駐日大使とともに十九日午前十時永田町の首相官邸に鳩山首相を訪問、約五十分にわたり離日のあいさつをかねて懇談した同会談に同席した松本官房副長官の話によるとこの懇談で日ソ交渉についてアリソン大使から「米国はなんら異議はなく交渉の時期も非常によいと思うが交渉に当っては日本側が不利益な結果にならぬようにされたい」と述べ、鳩山首相もこれを了承、ついでテイラー司令官が富士山麓演習問題について「米軍当局としては今後紛糾をおこさないよう十分注意するが、日本側も誤解しないよう措置されたい、このためおたがいに事前の打合せを緊密にしたい」と希望、首相も同意を表明、今後両国間の友好関係を一層深めるとともに平和への努力を続けていくことを約した



世相風詠
近代日本

汽船の外遊など 過去のこと
いまでは 飛行機で 空を行く
ヨコハマなどは 過去の港
いまでは ハネダが 世界的

飛行場には
銀のツバサが ずらりと ならび
白い建物 青い海
その 近代風景の かたすみに
おやおや おイナリさんが祭ってある

最新式の 建物に
赤いトリイの おイナリさん
世の 先端人よ 心せよ
最も新しいと いうことは
最も古いと いうことだ

(近藤東)

保守合同劇の舞台裏
"緒方首班"めぐる駈引



㊤鳩山首相 ㊦岸幹事長

三木談話で開いた保守合同劇の第一幕は、舞台がカラ回りするだけでさっぱり第二幕目に入らない、岸幹事長、砂田国対委員長といった民主党の主役陣がおどっても、楽屋ウラの党内鳩山派、旧改進系は逆にソデをひっぱるし、肝心の相手役の自由党も舞台にあがらないのだから空転は当りまえ、第一場の三木談話についで岸幹事長は演出を変え、第二場では岸談話を出して劇の進行をはかったがこれも"保守結集のためには解党も辞さない"という最後のセリフが党を刺激し、主役岸氏も散々の目にあった

岸構想に党内反発

岸、三木、砂田、河野氏らの保守結集論は、せんじつめれば鳩山一郎氏を引きおろし緒方竹虎氏を首班に保守両党を合同しようというのである、最初は現状からすぐに保守合同へ持ちこもうとの構想だったが、反発が強いのでこの間に連立という段階を設け、ツウ・ステップで保守合同劇を幕にしようというのが現在の岸氏らの考えである、岸氏は"民主、自由両党の最大公約数をとったんだ"と語り十六日の記者会見では"自由党もこれをのぞんでいるよ"と自信のほどを見せていた、ところが自由党の石井幹事長は早速これを手痛く反撃するし、同夜の民主党廿日会では"岸つるしあげ"の場面をみせるなど、岸構想の展開は思うにまかせないようである

岸構想にたいする民主党内の反発は鳩山派と旧改進系では多少思惑が違っている、鳩山派は大久保留次郎氏にしても花村四郎氏にしても鳩山なきあとの自分達の転落をまず第一に気にしている、つまり地位保全のための反対である、大久保氏などはシゲシゲと音羽通いを続け、鳩山首相をシッタ激励して政権保持を口説いている、これにたいして大麻、松村氏ら旧改進系は①かって重光を改進党総裁に仰いだ以上、いかに重光の信用がなくてもこれを見殺しにして他党の緒方を首班にするのは情においてしのびない②まして民主党の方が自由党より勢力が大きいのに、自由党から総裁をとる必要はないと人情の面からも緒方首班に反対している、十六日夜の廿日会では"三木、河野に利用されている""言動を慎んで貰いたい"等々岸氏はその部下たちから激しく攻撃されたが、岸氏の有力な子分などは"岸幹事長の考えは甘すぎる、岸は自由党に二つのルートを持っているというが、それは船田中と山口喜久一郎だ、この連中はあてにならない、緒方も石井も連立には絶対乗ってこない"と親分の岸氏を痛烈に批判している、それでいうのである

自由党内の見解

一方自由党は山口喜久一郎氏ら一部は鳩山首相の連立でも緒方首班への切替えを確約すればいいといっているが、緒方、石井氏ら主流派はもちろん、佐藤栄作、池田勇人氏ら吉田派もこれに反対している、緒方、石井氏らは緒方首班の連立にも反対している、連立すれば政策協定などで緒方が首班として苦境に立ち、結局深手を負って保守新党の総裁にはなれないというのである

も連立を強行すれば民主党は分裂するし、岸派のなかから岸氏に弓を引く者も出てくるとまでいっている



㊤緒方総裁 ㊦石井幹事長

しかし吉田派は緒方首班の連立なら賛成との態度に転じており、大橋武夫氏などもハッキリこれを肯定している、したがって自由党の大勢は"鳩山引退"が大前提となるもので、しかも"緒方首班を含みとする鳩山首班の連立には反対"である、ただ自由党内には緒方派と吉田派の対立があり、岸らはこの間隙をぬえると考えているようであり、これが岸の"自信"になっているらしい、この"自信"が"誤信"になるかどうかは結果を見なくては断定出来ないが「衆院の行監、選挙法両特別委員長を保守両党でとる」との民主党の対自申入れが、十七日の自由党総務会で"行監は自由党、選挙法は左社"ときまったことは、自由党の対民主追いこみ作戦が依然非常に強いことを物語っているものである、民主党の岸らは自由党が選挙法を民主党によこせば鳩山首班の連立を是認する勢力が大きいことを物語るものとし、その成行きを見守っていたのだが、この期待はもろくも破れた

いよいよ第二幕へ

しかし保守合同劇はいよいよ第二幕に入ろうとしている、即ち岸幹事長、三木総務会長、砂田国対委員長が十八日院内で三者会談を行った結果、予算問題、日ソ交渉など重要問題で自由党の協力を求めるため廿日ごろまず岸・石井両幹事長会談を行い、できれば今月末にも鳩山、緒方両党首会談を行いたい旨を自由党に申入れることに意見が一致した、従って衆院予算委員会の公聴会が終る廿日ごろから舞台は第二幕に入ることになろう

粋人辞典
わが服装史
矢野目源一

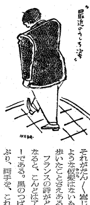


最近出た本で「三田にひらめく三色旗」という、慶応義塾出身者の大学生活思い出ばなしを集めたものがある。その中で文学部の石井誠教授の御執筆の条に、「変り種に矢野目源一という人がある。フランス文学の研究家だと思うが、今日では栄養学などを勉強して"百四十歳への招待"などという本を出して名を高め、出版者は"日本のハウザー"という称号を奉っている。大正の末頃、日本橋の三越の中を歩いていたら、矢野目君が中世ヨーロッパの小国の王様みたいな服装で、店内を練り歩いているのに出逢って、思わず目を見張ったことがある。かと思うと三、四年前には"旗さし物の研究"というものを、雑誌に発表している広告を見た。まことに愉快な人だ」

ところで、このユカイ人物氏は昔から服装のことで、人の噂にのぼる因縁がある。極端なのは真紅の長マントをひるがえして、銀座通りを歩いたなどというのがある。チンドン屋やパチンコ屋の客引きじゃあるまいし、これでも芸術の趣味ぐらいはもっている人間、一犬虚を吠えて、万犬実を伝えるワンチャンの上前を、はねるなどは蟹長類として恥かしくはござらぬか。赤マント説の根元は、私がスペイン風のマントを着て歩いた印象と、背広の裏に赤い裏地をつけていたことのあるのと(今なら珍らしくも何ともない)混同されたものである。

歴史の記述というものは、ロンドン塔に幽閉された、かの歴史家の有名な述懐をまつまでもなく、当てにはならぬものである。

私の変り型風俗趣味は、その起源を遠く少年の頃に遡ることができる。日露戦争の前、小倉の師団で軍医部長をしておられた森鴎外先生のところへ、よくお使いにやらされたころ、先生は小学校にも上がらない零年生の私にジーグフリード物語や、アーサー王伝記の美しい色刷画を見せて下さったものである。子供心に西洋人の武士は、綺麗な服装をしているものだな、という強い印象が与えられた。そこへもって来て、私の母が西洋人の宣教師の奥さんに、西洋の子供服の作り方を習って私に着せたのである。今から五十三年前は小公子フォンテルロイのような格好をさせられた私に、小倉の町中の犬が吠えついたものである。そのころ紫の兵児帯に、紺がすりを着た友達が羨しくてならなかった。



大学へ入ったころは、詩人気取りであったから、肖像でみたバイロンやシェリーのような大きな襟の開襟シャツに、空色のボヘミアンネクタイなどをして歩いたものであるそれがだんだん嵩じて来て、ヘンデルのような仮髪はないものかなどと、探して歩いたことさえある。

フランスの詩がどうやら読めるようになると、こんどはアルチュール・ランボーである。黒のつばのひろいソフトをかぶり、両手を、これも黒の上着の両側のポケットにつっこんで歩く、まったくもって猿芝居かお茶番である。

大学を卒業したころに、外国語学校の教授のスペイン人ホセ・ムニヨス氏と知り合となった。こんどはスペインの風俗に凝り出した。ムニヨスさんは、わざわざ本国から胴に巻く緋子の帯だの、黄色い紐のついているマントだのとりよせて下さる。上着はもちろん短いボレロである。そういう服装で身を固めたとき、石井誠教授のお目に止ったのであろう。

男の癖にひどく服に凝ったので、後年、戸袋君(もう故人である)という若い優秀なデザイナーが、毎月一着ずつ服を無償で作ってくれて、盛り場を一緒に歩いたものである。体のよい歩くマネキンである。

最近はまた古風なインバーネスを作って着て歩いているが、行人思わずギョッとして息をとめて見送るのを、昔ながらの茶目ッ気でうれしがっている次第。一体幾つになったらこのオッサン人並の格好をするようになるだろう。酒場やキャバレー遊びをフッツリ止めてみれば、いつでも仕立おろしを着て歩くぐらいの余裕は出てこようというもの、銀座で粋な背広を着て歩いてるのに逢ったら、アイツだなとお思い下さい。

東京株式仲値
□新株落 △配当落
(19日前場終値)

特定銘柄		昭電工	77	旭化成	316	カボン	49
東海上	280	日本曹	73	山陽パ	99	三井物	139
郵船	56	旭電化	75	日本パ	92	第一物	98
新三菱	91	三菱造	74	国策パ	97	白木屋	一
日清紡	265	三井造	105	東北パ	113	高島屋	79
味の素	291	三菱重	59	大東紡	93	日活	83
三越	278	石川重	89	商船	50	松竹	198
平和不	199	利工	135	三井船	46	東宝	1260
三井金	108	東洋ベ	114	飯野海	42	大映	173
三菱金	85	日立造	42	西武	350	日本粉	120
日鉱	79	浦賀	45	藤田興	222	日清粉	150
住友金	98	日平	24	東京ガ	65	日本ビ	148
三菱鉱	41	古河電	67	東電	426	朝日ビ	173
古河鉱	58	日立製	68	日銀	一	キリン	193
同和鉱	112	東芝	65	東銀	80	宝酒造	84
住友炭	56	三菱電	86	三井銀	一	台糖	221
三井山	55	小松	61	富士銀	88	明糖	111
北海炭	48	日本光	138	日証金	89	甜菜糖	113
東邦亜	61	キヤノ	142	安田火	111	野田醤	190
帝石	65	東京光	39	大正海	86	森永	277
日石	95	東洋紡	134	住友海	77	明菓	165
昭和石	96	鐘紡	110	千代田	一	日水産	76
東燃	113	富士紡	109	鋼管	65	昭和産	90
三菱石	106	大日紡	78	日製鋼	63	東洋醸	69
大協石	119	日東紡	60	八幡鉄	51	合同酒	103
日東化	70	片倉	35	富士鉄	49	三楽	83
日産化	74	呉羽紡	77	神戸鋼	56	大阪糖	152
三菱化	98	東邦レ	105	日特鋼	128	王子紙	202
三井化	107	帝麻	64	日軽金	171	十条紙	212
協和醗	108	中織	55	日金工	56	本州紙	88
東合成	109	帝人	122	日セメ	123	三菱紙	90
信越化	83	東洋レ	167	常磐セ	231	北越紙	51
東高圧	117	三菱レ	122	小野田	78	三井不	783
		倉レ	83	横浜ゴ	208	三菱倉	503
				旭硝子	139	三井倉	80
				富士写	116	渋沢倉	83
				小西六	106	東洋埠	180

市況 閑散保合

支援材料なしで大証券が再び無気力な見送り態度にかえつたため市況は全く動意なく全般は沼閑散のコゲ付場面となつている、特定株はきのう出遅れた東海上にマバラ買が散見されて小締つた以外は目だつた動きなくいずれも前日値付近に保合、雑株も大部分保合圏の小浮動商状に止まり、僅かに江戸川化学、カーバイトなど化学株の一角が大証券買に三、四円方引締つたのが目だつ程度

▽安い株=東洋羅八円、東北電五円
▽高い株=カーバイト四円

濃縮ウラン
"受入れ"正式決定
政府 速かに交渉提案

政府は十九日午前十一時から原子力利用準備調査会を開き、さきに米国から申入れのあった濃縮ウラニウムの受入れ問題について協議した、この調査会には重光外相(会長)一万田蔵相、高碕経審長官、松村文相、石橋通産相ら各閣僚のほか石川経団連会長、茅学術会議会長、藤岡原子力問題委員長の全委員が出席、米側の濃縮ウラニウム配分申入れについてはこれを受入れるとの最終態度を正式に決めた

政府としてはこの決定にもとづき廿日の閣議に正式にはかったうえ在日米大使館を通じ右申入れを行うとともに、日米間に濃縮ウラニウムの配分を受入れるための双務協定の交渉を早急に始めたい意向である

ラニウムの受入れについては原則として賛成の態度をとっているが、これは国際的な商品であるから受入れ協定の内容は秘密事項や義務的な条件を含まないことを前提としている

民主党も決定

民主党では十九日午前の政調会ならびに総務会で米側の濃縮ウラニウム配分申入れを受入れるべきであるとの正式態度を決定、この旨ただちに政府に通告した

右社も本格的検討

右派社会党は十九日の国対委できさきに党内に設置した原子力委員会が中心となって濃縮ウラニウムの受入れについて本格的な検討を始めることをきめた、同党は濃縮ウ[illegible]

自由党拒否
国防会議法案の事前話合い

民主党の清瀬政調会長は自由党に対し国防会議設置法案に協調方を申入れ、同法案の国会提出前に話合いを進めたい意向であったが十九日朝自由党から「政府独自案を国会に出したあと国会審議を通じて自由党の態度を決める」旨の回答が行われた、よって清瀬政調会長は直ちにこの旨根本官房長官に報告した

政府としては自由党の態度が明らかになったので今週一ぱい民主党政調会で最終的検討を行なったのち廿四日の閣議で同法案を正式に決定、国会に提出する方針である

予算公聴会始まる

衆院予算委員会は十九日午前十時半から公聴会を開き、卅年度予算[illegible]

郷司浩平氏(日本生産性本部専務理事、経済同友会常任幹事)

予算総額一兆円のワクは絶対に堅持しなければならない、国民所得は昨年より二%増えているが、日本経済の実態はまだ一兆円を破ってもいいほど強固ではない

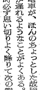
上林山栄吉氏(民主党)

自由党が提唱している財政投融資の銀行積立支払金制度はインフレの要因にならないか、また時期尚早ではないか

郷司氏 この制度は一兆円のワクを破り、資金統制となり、民間資本を圧迫するからやるべきではない

仏政府原子力計画承認

【パリ十八日発ロイター=共同】仏政府は十八日の閣議で一千億フランにのぼる原子力三ヵ年計画を承認した



なんがん川柳 吉田村司選

別宅を運轉手だけ知っている 葛飾 福田こうじ
靴磨きその足首へ話しかけ 市川 中林適司
いやらしいわなどとこつそり讃んでいる 葛飾 枯すゝき
コンドーム子に拾われて悪慌て 荒川 松永眞



発禁になりそうな本を買いあさり 中野 高野芸太郎
オーバーを脱げば豊かな腰の線 立川 山口毅
友情のカケラ仁円出してくれ 新宿 琴之助

内外抄

「原子力協同体」を設けてアジアの貧困を救えとホプキンス氏現代の福音を宣べ伝える意気。

◇

日本が原子力工業を推進してアジアの推進力となれとの仰せ、おだてにのれるほどの柄でもなし。

◇

一体濃縮ウランはタダか有料かとひそひそ。アメさんが案外チャッカリ屋のこと知ってる癖に。

◇

「保守結集は結構じゃがワシの隠居をあまり催促するなよ」首相の「行雲流水」談の翻訳。

◇

結婚相談所の看板と「女社員を求む」広告で集ったのが社員で会社式の媒売、たしかに現代型。



ジグザグコース
心のネジが傷んでいる

「タクシーをとめたら運転手の人相が悪い暗いところへ連れてかれて金で もとられたら…それでやめちゃった、次の車をとめたら、大酒を飲みそうな鼻の赤い運転手、酔っぱらい運転で安全地帯にガチャーン…てなことになったら…ブルブルそれでまたやめて…」といった漫談をきいたことがある。客は巧みな話術に爆笑また爆笑だった。

通勤電車が、ほんのちょっとした故障で発車が遅れるようなことがよくある。そんな時必ず思い切りよく降りて次の電車を待つという神経質な男がある。その男にいわせると「ケチのついた車のほうが、災害を起す可能性は強いから、用心のために…」だという。そんな話をきいた四、五人が、なんて気の小さい奴だろうと笑った。

だが、最近の乗物の恐怖はまったくひどい。カチカチ山の泥舟ならともかく、国鉄の連絡船が衝突して沈没、百五十余の尊い人命を一瞬のうちに奪われ、運転手の不注意からバスが川原に転落して小学生十数名を殺し、修学旅行のバスが突如火を噴き、東海道線の列車五両が、何の前ぶれもなく火だるまになっている。

文部省では、あわてて修学旅行を一時中止させようといっているが、修学旅行を中止したところで、乗物の災害がピタリ中止するというワケでもあるまい。しかも交通事故は旅行だけではなく、東京都内でも毎日無数にある。道路一つ越すにも生命がけである。いや、決して大ゲサなことをいうのではない。毎日の新聞に事故の四つや五つ載らぬことはないし、自動車のハンランから、人間が安心して通れる道路もないではないか。「日本中が傷んでいる」といった人があるが、単に管理上の問題ではなく、交通関係者の人命尊重の心のネジが傷んでいるのに違いない。いまや、前記の漫談や、神経質な男を笑えないではないか。と、ここまで書いて思った。はて、きょうも無事に帰宅できるかしらん? いや、まったくの話が…。(国)

青春無宿 (10)
大林清 作
下高原健二 画

銀座の奇蹟 (四)

この辺りで本篇の主人公宇田次郎の輪郭をもう少し明瞭にしておく必要がありそうである。

宇田清隆といえば、往年伯爵の爵位のある身で、アフリカ探検などをやった貴族中の変り者で、その名を記憶している者もまだ世間に多い筈だが、次郎は彼の次男に生れている。

従って次郎は華族名門の子弟と机をならべて、中等部まで学習院で学んだが、父の正妻の子に生れたのでないのを知ったのはその頃だった。戸籍面は嫡出子になっているが、実際は父が寵愛した赤坂の美妓の子に生れたので、その母がどうなったか、父は口を緘して語らず、誰も知る者がない。

少年次郎が、そんな自分の身の上に悩んだのは当然だった。その末が幼時実母同様に愛情をかたむけてくれた乳母をたよって家出し、北海道旭川へ走った。

それが戦争末期だったが、清隆は別にとがめるでもなく、次郎が中学を出るまでの旭川での生活を黙認したかたちだった。

終戦直後、次郎は大学に進むためにやむを得ず上京した。宇田家にはよりつかず、下宿生活をつづけながら法科に学んだが、実際は運動三昧の学生生活で、大学対抗の柔道試合などに、宇田次郎の名は鳴りひびいた。

大学卒業後の次郎は、造船会社に就職したが、疑獄の起る前に幹部の腐敗に憤慨して飛び出し、二、三の会社を転々とした。どの仕事も思わしくなかった。その中でたった一つ、これは会社がつぶれてしまったが、広告企画の仕事に興味を持った。つぶれた会社の名をそのままもらいうけて、日本広告研究所の看板をかけ、あらゆる業種の一切の広告立案に応じるのを建前に、アド・プランナー宇田次郎が生れた次第だった。アメリカあたりでは立派に存在する職業が、だが次郎の場合は一向にはやらず、あとは千子が木崎真弓に聞いた通りなのだ。

さて、次郎は昼寝の夢をさまされた闖入者に、不承不承つれ出され、銀六アパートからはほんの一またぎの喫茶サロン・青い星へ出かける仕儀となった。

「ここよ」

千子は立ちどまった。

小ビルの地階への降り口に、あまり目立たないその名の看板が出ている。

「はいってみましょう」

千子は先に立って、階段を降りはじめた。

左右の壁には緑のビロウドが張りつめてあって、箱の中へでも降りて行く感じだ。



階段の尽きたところに、もう一つ入口があり、内部は深海の底のように暗く、客の吐き散らす煙草の煙がたゆたっている。

ボーイが案内に立って、二人を奥の空席へみちびいた。

「近頃はやりだしてる新しいスタイルの喫茶店よ。安い値段で、キャバレーへ行ったような気分が味わえるところがミソなんだけど、こんな店がはやって来ると、あたしたちも考えなおさなきゃならないわ」

千子はまず職業意識を働かしながら席につくと、

「レジの浮島光代さん見えてるでしょ」

と、ボーイに云った。

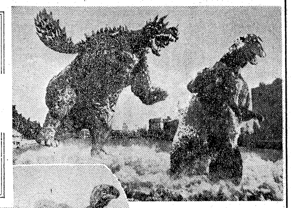
「来ていると思いますが、少々お待ち下さい」

ボーイの去る先を見送った千子が、急に真剣な眼になって、次郎の膝を突いた。

「いけない、変なのが来てるわ」

大人の読む子供新聞 特集

子供がジッとしていないシーズンである、野に街に遊園地にとオヤジを引っ張り出そうと躍起である、ところで子供のお供でまかり出た親は幼きころ大はしゃぎしたことがあったことを忘れて「つまらん」てなことをおっしゃるが、ちょっと待ってもらいたい、そこには子供が喜ぶと同時に大人にとっても汲めど尽きぬ話題があるというもの、ただ知らないだけなのである、という次第で街の映画館から一つ、遊園地から一つ、さらに農家の軒先から一つ、合計三つの話題をとり上げて提供しよう、題して「大人に読ませる子供新聞」特集版である



ゴジラの性態

一匹の怪物が東京をハイカイしている—はじめは日比谷から国会議事堂あたりに出現、のち大阪にその怪異な姿をあらわした、とその後ろからこれに勝るとも劣らぬ怪物がおどりかかった、しばらく続く大争闘…かくて一方は倒れて幕—とは映画"ゴジラ"とそれに続く"ゴジラの逆襲"にでるゴジラとアンギラスだが、いまや映画スター、ゴジラ君は日本中で知らぬものがないほど有名となった、ところでこのグロテスクな怪物のモデルは太古にいたといわれるが、単に人類の想像に生きたものであるか、実在したとすれば哺乳類であったか卵生であったか、はたまたオスとメスの区別はどんなものであったろう、夫婦の営みはどんなふうであったかなどなど、ゴジラ君にからむ謎はつきない、そこで"ゴジラ"の映画化にあたり、相談にのって、いうなればゴジラの生みの親とも目される国立博物館地学課長尾崎博氏に「ゴジラの雌雄」について語ってもらった



映画"ゴジラの逆襲"のゴジラ(右)とアンギラス、下はゴジラのモデル"タイラノ・ザウルス"

三千万歳で思春期 喧嘩の末にオス、メス名乗り

いまからおよそ六千万年前、つまり人類の生れ出る前世紀の時代には、アフリカを中心に地球上は爬虫類の全盛と化していた、アメリカ、蒙古、中国の諸地方には多くの恐竜が出没し、互いに相殺し合い、共食いをしながら生存競争を続けていた、かれらは主に陸に棲息しているが、コーモリのような羽根のついたのは空中を飛び交い、クジラに四つ足の生えてるようなのは海に棲息して、その種類も五、六百以上に及んでいる

かれらの目方は五—十トンに及ぶのはザラで、後足で立上ると身長が廿五メートルを越えるのも見られるのだから、銀座の服部の時計台を壊すぐらい朝飯前、殊にアフリカ産のザウルスは巨大である上に繁殖率も盛んだといわれ、映画にお目見得したゴジラもその一種タイラノ・ザウルスである、しかしタイラノ・ザウルスは陸棲なのでゴジラのように海から出たのはオカド違いだそうである、これは余談だが、とにかくかれらの平均年令をみてみると大体一億年前後と推定される、従って孵化してから三千万歳にして思春期に達し、四千五百万歳にもなればオスはメスをメスはオスをそれぞれ求めて荒れ狂うという具合で、ようやくこのころになって一匹前?のザウルスになるといわれている

しかし蛇などでも判るように、オスといっても男性を象徴するものもなければ嗅覚もないので、たとえ一匹前のザウルスとなってもかれら自身冷血動物なるがゆえにオス、メスの区別はしかねる場合が多い、そこで映画にみられるようにゴジラは蒙古系のアンギラスにめぐり合うと、相互に雌雄を決する戦いを挑むという筋がでるわけ

メス、オスを判別する一方法として「オスは肉食性であるため口中キバのごとき鋭い歯をいっぱいもっており、メスは草食性なのでこの反対にやわらかい人間のような歯をしている」と主張する学者がある、その学者の説によればメス、オスの対決—というより愛情の表現—をするときは双方かみつかまれつしあって鋭いキバ(歯)で一方のザウルスを征服したとき、はじめて勝った方がオス、負けた方がメスを名乗るといわれている、とするとザウルスのメスはマゾヒストに似るとの結論になる?

しかしこの説にたいしても異説ふんぷん、真偽のほどは疑わしい、といって別にこの説をくつがえすに足る根拠もない、だからゴジラが口から火を吐くといっても「ウソだ」といい切れる理由さえないわけで、あれは異性を求める情火と解すれば味のある結論であるかも知れない

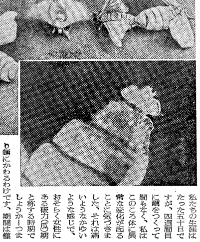
モダン歳々記 超女性人見絹枝

昭和三年五月廿日、大阪市立運動場で開かれた全日本陸上選手権大会は第九回オリンピック大会出場選手の最終予選をかねていたがこゝで四つの日本記録と二つの世界記録を人見絹枝が樹立したのだった。後者の一つは女子トラックに於ける百メートルの一二秒二一つは女子フィールドで走幅跳の五メートル九八という驚異的レコードで、この走幅跳は九年後の一九三八年にポーランドの女流選手ワラシェウィッチが六メートル〇二で破るまで何人も近づき得なかった素晴らしいものだった。

身長五尺六寸、体重十五貫という彼女は人を呼ぶにも織田君! とか高石君! といって、万事男性的だった。性の転換が簡単に行われる今日なら、とっくに男性に移籍していたかもしれない。だから彼女のロマンスの相手も異性でなく、彼女は同窓の後輩を恋人に選び、大毎に勤務していた当時も大阪郊外に愛の巣を構えていた。ところが、彼女の欧州遠征中に、恋人は男性の愛人を得て駈け落ちしてしまった。そのため五尺六寸にもて余した失恋の悲しみは、この天才的スポーツ女性を廿八歳という若さであの世へ送ってしまったのである。(鮭)

蛾の一生

「風かおる五月ともなれば、私の生んだ子供たちが眼をさます、農家では私の子供たちを"おかいこさま"と呼んでいる、ところで私たちの短い生涯の最良の時はたった一日、蛹から蛾に転化した時の、あの一日なのです」…涙ながらに告白するのは東京都蚕業試験場に生きのびた蚕の母親、以下題して"蛾の雌雄の一生"を彼女? にきいてみよう(資料は東京慈恵会医科大学講師佐藤清夫、東京都蚕業試験場丹真次郎の両氏による)



メスをキャッチしたオス(右)と性的興奮から羽ばたきをするオス(写真上)とメスの匂い袋

私たちの生涯はたった五十日ですが、四週間目に繭をつくって間もなく、私はこのころ体に異常な変化が起ることに気づきました、それは痛いようなかゆいような感じで、おそらく女性にある破瓜(瓜)期と称する時期でしょうか—つまり蛹にかわるわけです、期間は僅か十日ですが、俗にいうメス、オスがこの時期に区別されます、蚕のころあった絹糸、腺腹脚をはじめ消化器や筋肉なども崩壊や変化を起し、これまで米粒より小さかった卵巣がいちじるしく発達して腹の中は卵で一パイになってしまいます、やがて一人前のメスになりきると蛹の皮が自然に破けるので、同時にアルカリ性の液を口から出して繭を破って出てきます、時間は朝の四時ごろから六時間以内に限られ、決して午後とか夜中に出るようなヘマな真似はいたしません

一人前? のメスになった証拠には、かいこ時代の食欲がなくなって、異性(オス)をひきつけたいという欲求のみ—つまり人間でいえば食い気より色気というわけでしょうか、とにかく何とかしてオスを誘いたいという気持がこのころ起るのです、そして私のまわりに果してオスがいるのかどうか自分を卑下するわけではございませんが、何しろ下等動物で視力がきゝませんので—判らないのです、学者にいわせれば私のように非活動的では体の大きなのがメスと称され、オスはエネルギッシュで小さいといっております

雌の尻巡る愛の舞踏 享樂の果てに待つ絶望

余談になりましたが、従って近くにいる雌雄の蛾の区別がハッキリせず、すべて鼻で相手を嗅ぎ分けるようになっております

たまたま五ミリばかり近くにいる同性の蛾が、急に尻を持上げて黄色の匂い袋をふくらませ、一生懸命香水のような匂いを発散させているので、まるで私たちがいま出そうとしているのと同じものを—"口惜しい"という気持と嫉妬心が重なって複雑な気持にかられ、私も彼女に負けまいと尻を持上げます、その匂いは十ミリから廿ミリ四方に達するといわれており、蛾の種類によっては一—二キロにも及ぶのがあるそうです

尻から出した匂いをかいでオスはハバたきながら近づいてまいりますが、蛾のオスがハバたくのは彼らが性的興奮をしたことを意味するのだそうで、私はそれをみると表現しがたい満足感と、やがて一匹のオスを独占した時はそれ以上の幸福感を味わうことができるのです

勿論私たち下等動物にも三角関係や同性愛もあるようです、わたしのみた例では十五ミリぐらい先にいた中国種一一五号のメス(蚕の種類、私たちは日本種一一二号)がオスをひきつけようと努め、二匹のオスが競って近づいた時、不意に人間の腕がのびて"これは種類がちがう"と血統? の違う彼女は、無慈悲にも取去られてしまったのです、可哀そうなのは近づいた二匹のオス同士、互いにオスであることを主張し合うのです、また二匹のメスが二匹に攻めたてられ、いわゆる三角関係もあると聞いていますからこの点は人間並みでしょう

さてお互いにこの興奮状態が四、五時間も続くと私のオスは精魂尽きて死んでしまいました、わたしもまたその日の夕方から五百—八百ぐらいの卵を夜のうちに産みおわってからというものは食物を一切とらないので、たゞ死を待つのみとなるわけです

遊園地奇談

棺桶と化した古木 井ノ頭公園 恋と失恋清算の名所?

○…武蔵野の名残りが濃かった井ノ頭公園、かつて文人はここを「ブローニュの森に似ている」と喜んだそうだが、戦時中軍用棺桶をつくるため杉の古木を切ってしまったので、いまは"陽の当る公園"となっているお天道様のある間は子供達の遊園地、はるばるやってくる小学生で大賑い、いちじく型の池にボートを漕ぎ出して、ワイワイキャーキャーやっている、陽が落ちて、公園全体が"月の当る"ころともなると、都心部から中央線や井ノ頭線に乗ったアベックが乗込んで今を盛りのアジサイの陰や、防空壕跡の窪地などで、夜の饗宴を貪り食い始める、ゴールデン・アワーは夜七時から十時ごろまで、民間放送のゴールデン・アワーとピッタリ、放送なら卅分で何十万円もとられるが、茶店のオジサンは「あの人たちは春宵一刻千金でしょうよ」と乙なことをいっている

○…十一時過ぎの終電車が通るころ、アベックの群れは大半闇に溶けこんでしまうが、何組かは明け方まで残る、プールわき、井ノ頭線寄りの繁み、自然文化園のある御殿山あたり、街燈のないところが大人の遊び場公園中央に新設された警備派出所のお巡りさんは、粋を利かして、なるべく見て見ぬふりをする方針らしいが、茶店のオジサんは被害甚大だとこぼしている「ナンナン、チョウチョウ、ゴソゴソ、クチャクチャ、店の軒下でいちゃつく音が耳について、夜明けまで眠れないことがあるんですよ」…翌朝オジサんはねむい目をこすりながら件のところにでてみると、縁台はみえない、長椅子やノレンまで行方不明になっているのに気がつく、と、隣りの茶店から「ウチに見なれない椅子があるが」ときにくる、夜通し借用に及んだのを、明方返すとき興奮したあとなので、借先を間違えるのだそうだ

○…アベックの多いところには痴漢も出没する、プール付近の公衆便所で夕暮どき、第二の鏡子ちゃん事件になりそうなことが起ったり、風呂帰りの若い人妻が後ろから抱きすくめられて、あわや落花狼藉の段になりそうだったりしたが、痴漢は禁をカスミと逃げてしまった 「ここは武蔵野署と三鷹署の境界点なので、どうも連絡がおそく、やりにくい」お巡さんの嘆きである

○…歓楽尽きて哀愁多しとか、徹夜組の中からは、思い出の土地で失恋清算の希望者がワンサとでる、井ノ頭の池は藻が多く、底深く泥に掩われているので、投身するとなかなか浮び上らないらしい、この前も若い娘さんが身を投げた、吉祥寺駅寄り、ダンス教習所わきを入った突き当りがその場所、病身のため彼を失う悲しさを籠めた遺書が残してあった、井ノ頭には心中が少い、たいてい失恋自殺とはどうしたわけだろう、御殿山のソロの木(さるすべりに似た木)で首を吊った男も失恋だったそうだ、この人たちは井ノ頭の自然をこよなく愛した野口雨情の

鳴いてさわいで
日の暮れ頃は
声によしきり
離りゃせぬ

の詩碑があるのを知らないらしい

風流世界譚 (フランス)

元来絵描きなどというものはズボラで、夜は夜更し、朝は朝寝坊と相場が決っています。フランスのパリはそんな連中が世界各国から集って来ていました。そのためパリ芸術大学はなかなか試験がむずかしく、おいそれとパスできません。試験問題は簡単なのですが、何分にも応募者が多いのです。腕のほどはそれぞれ自信がある連中でも、筆記試験でふるい落されます。今年四月に行われた入学試験も東大以上に激烈を極めたものでした。さて答案用紙が集まって、一人々々ふるい落され、最後に粋なパリジャンの審査員すべてが百点をつけたため、第一位と決ったのは今年十八歳になるメリーというアメリカの少女でした。試験問題は「芸術家の定義を問う」というのでしたが、メリー嬢の答案には次のように書いてあったということです。「芸術家とは写真を撮る時には美しい着物を着せ、絵を描く時には着物を脱がせる男達のことなり」

珍問奇聞 ◆ボルネオ◆ トカゲばくち

○…競馬、競輪、パチンコ、麻雀、闘鶏、闘犬、闘猫、闘魚と数え上げたら、この世には百種以上の賭博があるが、ボルネオ、サマリンダ地方の土民が行う「闘トカゲ」は珍しいものの一つに加えていゝものである

○…トカゲといっても皮細工や皮製品になる「モニトール」種の大トカゲではない、こいつは人間には危害を加えるくせにおたがいどうしでは絶対にけんかしない性質の持主なのである、で、バクチに用いられるのは「イガーナ」といわれるトカゲに他ならない、こいつは成長したやつで約六十センチ、特徴は物凄くでかい口にある

○…さて、このイガーナ・トカゲを、どうして闘わせるかというと、土人がまず相手の尻っ尾に小刀を突きたてる、するとイガーナは、じぶんを痛い目にあわせたのが人間とはしらずリングの中央で怒りに燃え、相手の同類めがけて敢然とおどりかかるのである、かくて鋭い歯と歯で噛みあい、リングの土を真赤に染めて、どちらかが完全にノビるまで闘いをつゞける

○…いうまでもなくバクチだから、なにがしの財産は賭けられているが、このバクチが変っている点は、絶対に男性のみが行うということである、およそ勝負賭け事に於て女性が全く入らないということはないのに、このイガーナ賭博だけは、女が一人も入らないのである (作)

あすの運勢 =五月廿日= 高島象山

▲一月生—周囲の情勢を洞察して方針を立てるべし他動的悩有易い
▲二月生—物事不振に陥り悩み交交起る日柄なれば慎重に進退せよ
▲三月生—何事も漸進的向上し発展ある日積極的に活動吉移転よし
▲四月生—希望を裏切り他動的に迷惑起り易い交際外交上注意せよ
▲五月生—不意に災禍を蒙り易いから外出を注意危険物に立寄るな
▲六月生—志気上り新進の意気発動して目的願望成就ある日造作吉
▲七月生—物質的には有利なるも精神的には苦労あり移転造作吉也
▲八月生—自己を過信して却て事を破り物を乱すことあり控え目吉
▲九月生—時機到来し目的叶う日機を逸する事なく邁進せよ開業吉
▲十月生—物事に不安起り不満不平多く不振なり控え目に行うべし
▲十一月生—向上進展の日柄なれば何事も進取的に活動して幸多し
▲十二月生—何事も自己の力量と分限を越えると失敗あるから注意

浪人街道 (161)

木村荘十 野口昂明 画

旅の空 (一)

「待った、待った」

投げた光の中に飛びこんで来た男は、

「お嬢様」と叫んだ。

「あゝ佐吉」

「啓之助さんはどうしました」

綾は歓びに口がきけず、白刃でお霊屋の方を指した。

「それッ」

白刃を伏せて飛んでいく一団は悉く、烏天狗のような異様な面をつけている。

「烏組…何時ぞやの浪人組の人達です。」

「あの人達は?」

「ここじゃァ組下の者を使ってはまずいので…早く」

と佐吉は綾を促して後を追う。

しかし、啓之助の行方は分らない。増上寺の近くまで行ったが、そこはまた、ひっそりと寂静まって人の気配もないのだ。

ガン燈をもった組の者が叫ぶ。

「血だ。」

後をつけた。点々と、夥しい血だ。

それは木立ちの中をぬけ、道を横切り、愛宕山の裾の末寺の境内へ……。

が、血潮のあとはここでとぎれて、その寺も、もう静まり返っている。

「ここで手当をして手負いを連れて引上げたらしい」

佐吉は、その末寺へ飛び込んで調べたかったが、寺社奉行の権限を侵すことは出来なかった。なにより厄介なのは、啓之助のことが公儀に知れることだった。

「藪蛇になりそうですな」

烏組の首領は黙って頷いた。

「残念だが引上げますか」

「待て」

人数を伏せて物見を出すと、その中の一人が、例の庵から、怪しい者が出て来るのを見つけて来た。

烏組は、聞くより早く殺到したが、もう相手は素早く影をくらましていた。

無住らしい。

飛び込んで見たが誰もいない。がここにも血の残りがある。

佐吉はガン燈を借りて、綿密に調べて歩いたが、今、少し前、誰かがここにいたに違いないとまではあたりをつけたが、例の抜け道へ出る床の間の仕掛には気がつかなかった。

その時、大地の底から聞えて来るような、鋭い音が聞えた。

二つ、三つ、

鉄砲だ、鉄砲の音に違いない、綾は、それを聞くと真っ青になった。

こんなところで何を撃つ。

(啓之助様、啓之助様を狙ったに違いない)

「佐吉、早く」

綾は気が気でなかった。

が、早くと云われても、佐吉はどうすることも出来なかった。

銃声の方角が分らない。

立ちすくんでいる足もとに響くものがある。

人々は顔を見合せて頷き合った。この庵の下らしい。

佐吉が、畳に耳をつけて、手を振った。人々は、そっと庭に出て地に伏した。

足音だ。確かに足音だ。

しかも近づいて来る。佐吉も綾も、誰だかは知る由もない。

それは啓之助か、お勢か。

床の間の板が、ぎィぎィと鳴って下がり始めた。



19日(木) ラジオとテレビ

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷彌次喜多道中記 大森義夫 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話◇今日の市況 30 受信機講座 富村正春 40 犬の舌 林寿郎ほか	10 東西こぼれ話 小金治 15 スイート・コンサート 25 おしゃれクイズ(三木)	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 バンド・タイム	00 劇「ポツポちゃん」 20 劇「なんばん太郎」 35 歌謡百貨店◇相撲特集
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 浪花演芸会 蝶々・雄二 いとし・こいし	00 名曲鑑賞 アーン歌曲集「五月」ほか 30 友への手紙 若月俊一・資料 朗読・篠田英之介	10 録音ニュース 20 平岡養一の木琴独奏 30 ミュジツク・レストラン 笈田敏夫 旗照夫他	00 録音ニュース 10 音楽サロン 30 私は人気者 灰田勝彦 近藤圭子 前田六郎ほか	00 ラジオ夕刊(耳の新聞) 20 花のステージ添川京子 30 浪曲明治維新「桜吹雪」(後編) 梅中軒鶯童
8	00 歌の花ごよみ デイツク・ミネ 近江俊郎ほか 30 劇「由起子」津島恵子 小栗一也 北沢彪ほか	05 教養特集 座談会「胃潰瘍は内科の病気」黒川利雄 沢田藤一郎 島田信勝ほか	00 くすくすくらぶ 松田トシ 市村俊幸 小梅他 30 のんき裁判 榎本健一 守田勘彌 森川信ほか	00 浪曲学校 東武蔵 三笑亭夢楽 大正みどり他 30 私と貴方の三つの歌 浅倉アナ 山口顕一郎他	00 漫才学校「恋はくせものの巻」蝶々 雄二ほか 30 愛読者ゲーム 有島一郎 南寿美子 園部三郎
9	05 ニュース解説 村田 15 のんきタクシー「デフレは生きている」突破他 40 偽の学生証まかり通る	00 劇「猫の精神」桑山正一 望月優子 左卜全他 45 放送詩集 GALA同人作品から 乞食ほか	10 千一夜「妻の秘密箱」田中明夫 山岡久乃ほか 30 劇「たゞひとりの人」花柳武始 新珠三千代他	00 ジヤズゲーム ジエームス 鈴木章治ほか 30 ワンダフルばあちゃん 東五九童 松葉蝶子ほか	00 声のスター・コンテスト 長岡輝子 田中明夫 30 新平家物語「いかずち雲の巻」徳川夢声
10	15 長唄「うつぼ猿」伊十郎 伊四郎 抄太郎ほか 40 落語の聞き方 金馬	00 ❶初級英語 小野嘉寿男❷上級国語 増淵恒吉 45 気象通報	05 きょうのニュースから 15 ダンスへの誘い 30 伸び行く子供たち	00 大学受験春期基礎講座 和文英訳 岩田一男 30 解析(1)田島一郎	00 劇「南無三宝」小沢栄他 35 民謡めぐり「福島・山形の巻」鈴木正夫 市丸
11	10 パリの展覧会 佐藤敬 20 九たび 三宅周太郎	05 濃縮ウラニウムの受入 20 子宮癌の科学療法	10 芸術百話「パリを画いて五十年」平賀亀祐ほか	00 宣伝の談話室 10 ラフマニノフの協奏曲	15 渋沢栄一伝 竹尾祥 40 作曲插話 服部良一

テレビ

★NHK★ ◆6・00 があがあくらぶ◆6・30 ヨーロッパの話◆7・10 映画「酪農の村」◆7・30 浪花演芸会 蝶々・雄二ほか◆8・00 私の秘密 渡辺紳一郎ほか◆8・30 歌の花束 近江俊郎ほか◆9・00 ニュース

★NTV★ ◆6・00 人形劇「魔法の笛」◆6・15 大相撲夏場所ハイライト◆6・25 漫画◆6・30 劇「花びらのうた」近藤圭子ほか◆7・30 千一夜「これが天才だ」のり平ほか◆8・00 映画「薔薇と拳銃」鶴田浩二ほか

★KR★ ◆8・20 シネラマ案内◆7・00 短篇映画◆7・30 私が買いましょう 増井春雄◆8・00 ❶漫才 ぴん助・美代鶴❷講談 如燕◆8・30 メリーゴーウランド ◆9・10 座談会「芸術に生きた兄弟」伊藤道郎四兄弟

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
8・05 名演奏家の時間	8・00 療養の時間近藤宏二	8・20 ラジオ・スケツチ	8・25 劇「青春のある所」	8・10 お早ようプーちゃん
8・30 町の音楽 渋沢和夫	8・30 組曲「子供の領分」他	9・45 盲学校の盲点(中島)	9・15 ラジオ小説「三家庭」	8・45 お好み歌謡曲
9・15 来客用の手軽な料理	9・45 調子の話 花村大	10・10 名作「集金旅行」	10・40 劇「君ひとすじに」	9・00 劇「サザエさん」
10・05 けさの話題 小秋元	10・15 観察ノート「背競べ」	11・35 音楽のスーツケース	11・35 連続劇「東京の人」	10・15 劇「家庭と酒と男」
10・15 生活随想 岡本太郎	11・15 理科の栞 海流と魚	12・30 落語 三遊亭金馬	1・15 漫才「二人の若人」	11・00 連続劇「信子」
11・15 朗読「晶子曼陀羅」	11・45 竹取物語と説話	1・30 婦人の窓「子供の夢」	2・30 長唄「春の調」「浦島」	11・35 朗読「浮雲」高橋博

目・耳・口から探る

東京の魅力はどこにあるか? 少くともそのポイントの一つは、欲しいものが何でもある点だろう。眼から、耳から、口から探る東京の魅力を特集したのが即ちこれである。

☆老いも若きも自動車運転に血みち =三田自動車練習所=

外国車の輸入は押えられたが、これに変って伸びたのが国産車。アメリカの下駄とまではいかないにしろ、往時の自動車にとって変った自動車ラッシュだ愛人づれで、ちょっとハイキングにも、貸自動車を利用する人々が多くなった程、車と比例して運転技能をもつ人も増加した。

自動車を運転出来ると、出来ない相違は、第一就職率からして違う。長い一生の間には大きなへだたりが生れるだろう。芸は身を助けるというから、その意味でも習っておくにしくはない。というわけで、若い人があげて通うのが、田町駅前の「三田自動車」練習所だ。鈴木所長以下練達者の教授陣が、親切に指導してくれるから、全然無手の者がメキメキ上達するおまけに、ここの卒業免状は実地試験免除という特典つきだ。一度身につけた技術は決して忘れないから失業の憂いも少ない。

☆フロリダ海岸で踊る南国の雰囲気 =クラブ・フロリダ=

サラリーマンの楽しいキャバレーとして定評あるのが、国電神田駅中央線ホーム下の「クラブ・フロリダ」だ。先頃店内を徹底的に改装して、文字通り"フロリダ海岸"のような南国調を盛り上げた白いイヴニングドレスの女性と、ヤシの葉かげ、鉄平石の壁に映えるのは星空のような照明である。値段が安いのに、豪華な雰囲気を楽しめるとあって、いつかサラリーマンの巣と呼ばれるに至ったのだが、ここの女性がまた頗る親切一介のサラリーマンを、一夜重役の夢にひたらせてくれることで有名だ。

例えば、入ると先ずメニューを持って来る。好きなものだけ注文すれば、明細を書いてチケットを置いて行く。どれだけ飲み食いしたかちゃんと解るシカケだ。ワケのわからぬ女性がワッ!とたかって、アッという間に数千金吹飛ぶというようなことは絶対ないところがうれしい。

女性はザッと八十名。若鮎のような純な娘から四十八手卒業組までいる。気に入った女性がいたら指名するといい。サービスタイムを狙えばビール一八〇円、お通し六〇円でゴッテリ遊べる。

☆お店の相談所、店舗の外科医とは? =日本室内装飾KK=

何気なしに街を歩いているようでも、人々の眼は絶えず店舗のウインドや飾りつけを見ているものだ。その証拠に、ちょっと変った趣向を凝らしてある店には、必ず人だかりしている。そのとき買う買わないは別として、美しい配置奇抜な装飾、魅惑的な店の構造や親しめる雰囲気は、ちゃんと覚えていて、今度銀座へ出たら寄ってみようとか、新宿ならあの店へ、とか頭の中では買物や食事のスケジュールが組まれているのだ。

置く商品や料理などと、同じように大切なのが、入り易い店かどうかということだろう。いくら金をかけても、自然に人足を遠去ける店もあるし、大ザッパでも親しめる店もある。こういうことは、素人ではなかなか解るまい。一度専門家の診断を乞い、心理学的な見地から科学的に研究して貰うことをお奨めする。

それには何といっても渋谷エビス通り一丁目の「日本室内装飾KK」がいい。店舗の外科医ともいうべき会社で、一つ一つの店舗を科学的に診断するから、欠陥を発見し、治療するのにうってつけだ。不備な点、客の入りにくいような印象、マンネリズムや商品と照明の関係、一つ一つの装飾品に至る迄、完璧なカルテを書いてくれるだろう。店舗が健康体になれば、翌日から、客の盛が眼に見えて違う、とは或る有名商店の述懐であった。

☆女店員がショーシンガーに早変り =目黒セントーの色気=

目黒区上大崎二ノ五四三、といっても解りにくいが、目黒駅都電通り、トーホー美容室前といえばそれとうなづく。珈琲のナイト・クラブともいうべきが「目黒セントー」である。情熱的なマンボのリズムが室内に満ちれば、いま客席でサービスしていた美しいウェイトレスが、妖しい微笑をたたえて踊り、歌う。ショーガール、シンガーに早変りという不思議な店だ。いわば大人の喫茶室とでもいうのだろうか。これが名物の"セントーガール"である。

室内の設備調度は高級キャバレー並み、昼から深夜までネバッてコーヒー一杯でいいともなれば、千客万来は勿論だが、なかにはセントーガールに一眼惚れ、通いつめてるご仁も多い。先ず眼から口から入る"東京の魅力"の筆頭においていい、大人の喫茶室である



菊地と会ってない
けさ大崎署へ 連絡容疑を否定

[illegible]

…裏付けを行っている❹実家へ帰ったのは母親の顔をみたいという単純な動機からだといっている❺菊地と黒崎が脱走後も行動を共にした容疑は薄い❻菊地は身体も頑健で犯罪方面の頭もなかなか鋭いので黒崎の逮捕が直に菊地の逮捕に結びつくとは思っていない❼しかし、本部としては菊地が依然栃木県下に潜伏しているとの確信を強めており、さらに強力な捜査網を張って行くと語った

黒崎は進んで逮捕された？
強殺の共犯か

房内こそ安全場所
菊地の報復を恐れる


大崎署へ入る黒崎信一（中央下駄ばき）

[illegible]

13日後 奇怪な足取り

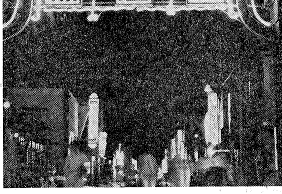
[illegible]

崎二の二九七無職堺一雄さん（三〇）方から現金五千円と衣類数点（六…）[illegible] たが主人の手前居辛くなっていた矢先、十五日に至って自分も指名 [illegible] から千円もらってやめ、自分の所持金三百円をもって再び桜木町に行き、十六日宇都宮に帰郷、十七日は野宿、十八日夜九時十分ごろ自宅付近に立回ったところ栃木県茂木署員に逮捕された

なお、堺さん宛の詫び状は十六日桜木町の知人に頼んで発送してもらったものだ

赤線吉原ジリ貧の悲哀

"ヨシワラ"の名はあまり自慢にならぬ国際的名所？だが、国際見本市や日本ロケでやってくる実業家や俳優たちが一度は見物してみたいとのぞいてみるところが彼らが口を揃えていうことには「淋しいところですネ」である、事実、総戸数約三百軒のうち約八十戸が売りに出されている現状で、このままで行けば盛夏には約半数が倒産のうき目をみるのではないかと業者を嘆かせている―以下は浅草署や吉原組合にきいた"売られる赤線"の実態である【写真は吉原揚屋町の夜景】



○…吉原の衰微の原因の第一は、なんといっても地理的な問題である、新宿二丁目が戦後盛況を誇っているのも人口が山ノ手に集中しており、地理的親近感からというのが主な理由のようだ、さらに吉原の場合は、明治、大正から奥山、十二階下などの異名で伝統を誇った？ 私娼宿の急速な再建ぶりが大きな役割を果している、その数約千二百という夜の女達はポン引と結託し、遊廓内の路上という路上に輪タクを並べて「こんな商売女より素人娘の上玉がいますよ」と袖をひっぱる、同じ遊ぶならと鹿児島の"松元事件"じゃないが素人女のスリルを求める客も、多くたゞさえ不景気風に吹かれているときとあってすっかり参っている

○…そこにもってきての打撃？は当局の厳しい監視で、赤線の財産である"上玉"の女給さんが思うように集められないことである、下手な人身売買でもしようものなら、多年の手入れで裏表を知りつくしている警視庁保安課、少年課などに摘発される、それにつけ込んでお目見得サギを働くものもあり、悪どいのになるとヒモの情夫が夜こっそりと見回り、女のすくない店をあらかじめねらってから女が乗りこみうまく住込む、二、三日様子をみて店の衣類を盗んだり、金を融通して貰ってドロンする、といっても、前借自体が法律違反なのだから下手に届出るわけにもいかず…と嘆いている

"譲店"増える一方
業者300軒中半数は倒産の運命
時代の流れ・八方塞り

○…そこで経営方針を変えて一儲けしようと借金して店がまえや部屋を綺麗にし、さて開業となると客は寄らず女は集らずで商売はメチャメチャ、あげくのはては税金の滞納百万円前後で、差押えとなり、強制的に売り出される業者も多く、中には抱えの女郎から借りた金が払えず、経営者が使用人に頭が上らないという珍風景も見られるという、とゞのつまり売りに出すとなれば、一千万円もかけた家が二百五十万円から四百万円ぐらいにしかならず、税金を差引き借金を返すと手元にはいくらも残らないという

○…ところが銀座、新橋などのキャバレーの経営者が新機軸を出してやろうと折角買取っても業態が売春行為なため、警察当局でも現在以上に間数をふやすことは売春行為をさらに認めることになり好ましからずと制限しているため、一たん廃業した後名義を変更するには坪数に応じてのホールの設置、部屋数の制限などいろいろの規定があって非常に困難なためいざとなると二の足を踏む者が多く売行きは芳ばしくないようだ

○…廃業組のその後の情況をみると、比較的健全なのは息子や娘が大学に行くようになり、子供の将来を考えて足を洗い地道な商売をやりたいという組、だが大半は場末の亀有、千住、立川、大宮など格安の地に移り、売った金で再び一旗上げようと画策している

東京アクセサリー ③
ヤグラ太鼓

○…濃縮ウラニウムなんてものが世界の話題になってる原子時代だというのに、「ラショウモン」や「シチニンノサムライ」そのまゝのチョンマゲが都大路をノッシノッシと歩いてきたのには、ICC（国際商業会議所）総会で初めて東京にやってきたアチラさんたちが碧い眼をパチクリしたーというのも当然かもしれない、だが、われわれのように、子供のころから国技大相撲に親しんできたものには、浴衣一枚でカラコロ下駄を鳴らし、両国界隈をサッソウとノシ歩く力士たちに"初夏の風物詩"を感じるのだし、ドドンガドガドガと鳴り渡る櫓太鼓の音が聞えてくれば胸をときめかせて、きょうの好取組を思い出す

○…ラジオはもちろん、新聞もなかった江戸時代は、大相撲の興行を知らせるには櫓太鼓以外にはなかった、そのころは現在のような高層ビルが群立する大都会ではなかったので、両国から打ち鳴らす威勢のいいバチ音が、風に乗り、海を越えて、遠く房州にまで聞えたものだともの本に記されている、広重の絵にあるように、昔なつかしい両国で本場所が行われていたころまでは、櫓太鼓は両国橋のたもとに建てられるのを常とした、これもバチの音が隅田の川面に反響して、できるだけ遠くまでひびくようにーという深慮からに違いあるまい、とすればなかなかの"科学する親方"があったワケになろう

○…すべて作法のやかましいハッケヨイの世界、櫓を組むにもチャンとした作法がある、高さは昔から五丈五尺、根元の四辺は各九尺、太鼓を鳴らす個所が各六尺、明（あき）の方といわれる恵方に親柱をまず建てるのも、縁起にこだわる社会らしい、櫓は上に二本の竿を大空に向けて差し出し、その先に幣をつけてある、これを天に捧げる出し幣（だしっぺい）と呼び、ドドンガドガドガのバチ音は天下泰平、五穀豊穣を祈るのだという、新聞はもとより、ラジオ、テレビの当今になっては、櫓太鼓も"興行報知器"の意味はまったく失われてしまったが、力士のチョンマゲのソレのように櫓は大相撲に欠かせぬアクセサリー、川風にヌッとそびえ立っていなければ、やはり歯の抜けたように淋しいに違いない【写真は蔵前国技館前にて】



患者35名が中毒
熊谷の病院で

[illegible] …部に報告があった、県当局の調査によれば十七日昼給食したアジのフライによるストマイン中毒とみられている

法務委"脱走"を調査

衆院法務委員会佐竹晴記代議士ほか八名の法務委員は午後一時から二年間に二度も死刑囚脱走事故を起した小菅の東京拘置所の施設管理、職員などの事情を調査した

紐育着の原爆乙女

【ニューヨーク発AP＝共同】五月九日、ニューヨークに到着した広島の原爆娘たちはすこぶる元気で、同日ニューヨーク市街の一部を見物し、またマウント・シナイ病院で整形外科医ウィリアム・H・ハイツィグ博士の診察をうけた【写真はマウント・シナイ病院の一室でハイツィグ博士の診察をうける原爆娘】



ふし穴
ノゾキよけ守鍵

◇…「新宿飲食簡易料理業組合連合会」なる団体から、五月廿二日に結成総会をやるからという案内状が回っている、ちょっとみただけでは一体何の団体かと首をかしげるが、これなん新宿青線業者の組合である、昨年十一月から一ヵ月にわたる当局の厳重な取締りに音をあげた花園小町、花園街、歌舞伎新町、歌舞伎新天地、歌舞伎小路、新宿センターの六つの組合が、自粛団体を作ろうということになったもの、❶街頭キャッチには監視員を置く❷ヒロポンの防止❸人身売買の絶滅❹未成年者の就業禁止❺外人の客はとらない❻転業促進…というスローガンを掲げているが「自粛の究極は廃業ですが、二百卅軒の業者の六半は屋台、露店商人が立退き料で開業した零細なもので、転業も即時というわけにはいかないので…」と、世論の攻勢の前に「業者も大いに反省しましょう」というのが大会のネライだそうナ

◇…渋谷の飲食街でハシゴをかけたときのはなしー閉店時間後なお飲みつゞけていると、マダムがアパートの部屋の鍵みたいなやつを持って立上った「オイ、閉店かい」とやれば、彼女ニヤリと笑ったまゝ裏へ、しばらくして帰ってきたので、どこに行ったかきいてもたゞ満足気に笑うばかり、それが大和田マーケット、恋文横丁、稲荷小路といずこも同じなので押して尋ねると、何とまた臭い話で共同トイレの合鍵"ふし穴"のぞきの酔っぱらいよけとはイヤハヤ

◇…昨報、多賀谷代議士（左社）恋のアバンチュール（冒険）の調査に当ったK記者が語る裏話、炭労を作った人物という多賀谷氏は全く真面目な人柄、初めての女にのぼせたらしいが、一件発覚に及んで、K記者に仲直りの調停を頼んだのはちょっと醜態、浜田女史は"女の魅力"に自信がありすぎたのでプライドを傷つけられて可愛さ余って…の口らしい、津田塾出の多賀谷夫人は「こういうことは真実を審いて歎いた方が、後々のために良い」と非常に聡明な見解、左社の代議士は赤松代議士が真相を知って奥さんに同調したのは別として、他府県選出の人は同僚をかばって弁護したが、福岡県選出の人たちは「二兎は追えないさ、覚悟しろよ」と冷く、つくづく選挙とは恐しいものだと思ったということだ（赤）

夏場所 ▽六日目取組

（東）		（西）	
鶴ケ嶺	二所錦	平ノ戸	若羽黒
鶴ケ嶺	松緑	神錦	白竜山
岩風	鶴波	広瀬川	星甲
神錦	松恵山	大瀬川	国登
秀錦	鯉ノ勢	常ノ山	清水川
伊勢錦	森ノ里	芳野嶺	大晃
小野錦	東海	大蛇潟	宮錦
起雲山	松井	泉洋	鳴門海
六土崎	大竜	潮錦	大天竜
神生山	平鹿川	出羽湊	清恵波
常錦	前ケ潮	若ノ海	成山
増巳山	太刀風	大昇	栃光
玉風	二瀬山	二瀬山	北ノ洋
大田山	八染	若瀬川	出羽錦
筑後山	那智山	玉ノ海	羽島山
白龍山	福ノ里	時津山	鶴ケ嶺
吉井山	時錦	琴ケ浜	朝潮
豊ノ花	秀湊	信夫山	松登
前ノ山	七ツ海	若ノ花	若葉山
出羽花	剣竜	大起	大内山
甲	鬼竜川	三根山	安念山
＝中入り＝		栃錦	双ツ竜
緋縅	桜国	若前田	千代山
		島錦	鏡里

六日目好取組二番
信夫山―松登

初の三役の鶴嶺松先場所は勝ったが、ヘビに魅入られた蛙のように信夫が苦手、松最近あたりが弱いので、ぶちかますより早く信夫左から攻めて双差し、一気に寄りたてる手だろう、松こうなっては腰が高く、はなはだ勝手悪い、体当りを心得た信夫には、やはり引つけてから慎重に体重に物をいわすことだ

三根山―安念山

三根の出足には鋭さは欠けるが、それでも落ちつかれ寄られては安念なんともいたしかたあるまい、そこでなまくら四ツの三根には立合いあたってなを左をこじ入れ右に上手を引く、十分となれば安念石いだけに思い切った投げから寄り身と櫓に不足の大関をゆすぶれよう（赤城）

松戸競輪初日成績

◇第一B（千）❶平間和1分25秒1❷武田昭一東❸村山善（単）150円（複）100円100円120円（連）⑥—③180円

あすのスポーツ

△野球 東都大学 専大対中大、農大対駒大（零時半、神宮）△関東選手権庭球決勝（パレス）△大相撲夏場所六日目（九時、蔵前）△競馬 川崎（零時半）

事業不振で飛込自殺

十八日夜十時五分ごろ渋谷区代々木外輪町一七三七先山手線外回り電車に横須賀市林町一九二三材木商石渡保治さん（四三）が飛びこみ自殺した、原宿署の調べでは「商売不振で申訳けない」の遺書があるところから事業不振を苦にしたものらしい

夫の病気を苦に服毒

十九日午前零時十五分ごろ豊島区池袋二の一七〇九無職堀越すみさん（四四）は自宅で猫イラズを飲んで自殺を図り近くの病院に収容されたが間もなく死亡した、池袋署の調べでは夫の病気を苦にして自殺を図ったものらしい

力道六月末帰国
オルテガら三選手つれて

【サンフランシスコ十八日吉次共同通信員発】プロレスラー力道山は渡米以来連戦連勝の好成績で当地で人気を集めているが、こんどレスリングの本場であるニューヨークで廿五日から十日間、またシカゴで一週間、ロサンゼルスで四日間と転戦、六月末東京で試合のためジェサス・オルテガ（メキシコのチャンピオン、六ﾌｨ四ﾁｲ、三一〇ﾎﾟﾝ）バット・カーチス（五ﾌｨ一〇ﾁｲ、二四〇ﾎﾟﾝ）および重量挙のチャンピオン、ワイキキ、サカタ（五ﾌｨ一一ﾁｲ、二三〇ﾎﾟﾝ、オリンピック第二位）の三名をつれて帰国する

駒込に白昼強盗
奥さんの機転で逃走

十九日午前十時頃豊島区駒込四の一五飯野海運経理部次長藤野精四郎さん（四二）方で妻歌子さん（三六）と女中三浦悦子さん（二六）が留守居中勝手口から廿歳前後五尺一、二寸白Yシャツ、紺ズボン姿の男がナタを持って押入ったが、歌子さんが庭づたいに隣家に救いを求めたので賊は一物も取らずに逃走したと巣鴨署に届出た、同署で緊急警戒中

独眼灯

○…アルコールが肝臓に悪いことは知られているが、こんど徳島大学の医学部で兎の実験によりハッキリし、あらためてノンベイに赤信号があげられた

○…同大学病理教室では一年前から卅羽の兎に毎日五CCのアルコールを静脈と直腸に注入したところ六ヵ月で肝臓が三分の一位に小さく固まり機能がとまってボツボツ死にはじめ、一年たった去る五月初めには全部の兎が死んでしまった

○…人間の体も同じで酒の量が過ぎるとアルコールが胃腸内の栄養消化に必要なアミノ酸や酵素を破壊し、さらに肝臓内に入って細胞を冒すわけ、大いに飲むのもいいがこの兎の運命を覚悟せよというが結論のようだ（徳島発）

同伴の文化財
ミス・マヌエラのナイトクラブ
日比谷ビル地下の『マヌエラ』

◇NHK前、日比谷ビル地下のナイトクラブ「マヌエラ」はその道の粋人は勿論、所謂ナイトクラブの遊びを卒業したご仁が行くと評判になっているほどで、上海がえりのリルならぬ、ミス・マヌエラが経営する店だからエキゾチックなのは勿論、それでいて俗っぽさは全くない。淡い灯影のゆらめく優雅な雰囲気、アベックや、銀座の高級バー、キャバレーなどの女性が彼氏などとともに初夏の夜を愉しみにやってくるのが多いというのも考えてみれば当然すぎるほど当然なのかもしれない。

◇一度「マヌエラ」をたづねた客の殆んどがこれこそ本式のナイトクラブだと賞讃する位ステキで、同伴のための生きた文化財だ。

◇上品なのは店のフンイキばかりでなく、この店が適度にコンプレックスやデフオルメされたナイトクラブで、あくまでサービスの女性を一人もおかない、純粋の同伴クラブなのである。

◇これだけの一級ナイトクラブなら勘定はサゾ高く到底一般人には寄りつけないところと想像されるであろうが事実はさにあらず、テーブルチャージ三百円だけで、最上級のエンジョイができるんだから安いものだ。一人前千円もフンパツすれば穴いばりで、愉しめるのだからサラリーの一部をさいて、恋人をよろこばせるのも愉しい想い出の一コマになろうというもの。映画のあとなど、まさに効果百％だ？。

◇バーは免許皆伝、キャバレーは卒業、もっと上品で、気が利いた、近代的な遊びは、ナイトクラブで、「マヌエラ」はそのなかでも、最も通人の選ぶクラブだろう。

◇昼間ランチタイムには三百円均一で毎日献立の変ったすばらしいランチをサービスしている。商用家庭づれ、アベックで食事をするにはシチュエーションがすばらしく豪華だから、お奨めしたい。

「マヌエラ」で夕食をとり、食後のカクテルを傾け、たのしく踊り興ずるのが、なんといっても遊びの醍醐味だろう。バンドはクラシックにまたスキートミュージックにホット なマンボに 情熱をこめたフイリッピンの「リト・アルコナバ」とその楽団がエキゾチックな雰囲気に一段と光彩を添えている。


写真はミス・マヌエラ

続 情炎の千代田城（121）

岩崎栄　寺本忠雄画

さみだれ（五）

谷底から向い側の、暗い杉林にもぐり込み、それからはもう街道には出ず、山の中ばかりを登ったり下ったり、半兵衛は野獣のように逞しく駆け続けた。

二昼夜、不眠不休に走り続けて甲府に飛び込む予定だったのが、このぶんだともう一昼夜おくれるらしい。雨は降ったり、やんだりして、着衣はジトジトに、腐った感じで肌にへバリついている。いくらなんでも、いささか疲労をおぼえて来た。

（あの女といい、あの若造といい、おそろしいやつだが、しかし面白い相手でもある）

崖をよじ、雑木の藪をくぐりながら、あの女とあの若造の姿態が、言葉が、後頭部に灼きついているのだ。憎悪と興味と、敵意と好意とが、思考の中で絶えず矛盾し撞着している。

使命の遂行に苦闘している自分を、なにかたのしそうに、いつも軽快に行動しているあの二人に比べて考える。

日が暮れて、すでによほどの時が過ぎた。雨は沛然として深山をたたき、渓谷を鳴動させている。江戸を発って、まる一昼夜が過ぎかけている。予定だと、もう甲府に着いて使命を果しているころだが、その甲府の方角がどっちだか現在の自分の居場所がどこなのかかいもく見当がつかぬ。ただ闇くもに西と思う方向に猪突猛進するのみだった。

体力も意思も、かなりに疲れ、衰えて来た。頻りに前途をあせる気持になっていた。

ハッとするような深い烈しい渓谷のフチに立った。上流は深く、滝の音が雨の声を圧し潰して聞こえる。道はないが、これはどうしても下流に向かうべきだろうと決心した。

これを下って、はたしてどこに出るかーともかく大きな河に出るだろう。その河は当然に相模川でなくてはならぬ。そこまで出てその川を遡行すれば、笹子の谷に行きつくわけだ。笹子を越えて、あすの夕方が甲府だ。そうだ！

一里、およそそのくらい下りて来た。そこに吊り橋が対岸へ渡っていた。谷はいよいよ深く鋭くすぐ足の下を奔流する水勢が、地獄の底からのように遠く微かだ。

街道に出た。この街道にこの吊り橋、あとこれは甲州街道、この橋こそは名だいの猿橋！　半兵衛は胸がひらくおもいで、はずむ足でグラグラ揺れる橋に踏みかけて行った。

「あッ」

思わず声をたてた。せまい吊り橋が、落雷のような音響とともに生きもののように不意に一間も高く弾ンで躍ってうねって揺れたのだった。

対岸の崖の上から、一と抱えもあろう大きな石を投げつけて来たらしい。

半兵衛の体は、弾じき上げられたように宙を泳いだ。一丈も刎ね上げられたのだ。

そのまま深い谷底に落ちる筈だが、そこは武芸の鍛錬が物をいう。ブランコのように上下左右に、ギイギイと無気味な音で揺れかえる橋板を踏んで、橋綱にすがりもせず、とっさに脇差を抜いていた。

「おい半兵衛さん！　こんばんは」

頭に背後から声がかかった。本能的に（あッ！　あの若造だ！）と合点した。まさに千代太郎だ。対岸はお静にきまっている。

青竹の杖から仕込みの一刀を抜いて、橋詰に構えているのが、敵

てうしろを振り向かずとも、背なかの神経に感じて来た。

（このまま前へ突っ切るか）

思案の鼻さきへ、またガラガラと大きな石だった。石を要塞のように積み上げて橋の袂をふさぎ、その上に黒い影が突っ立っている



その日その日 ⑯

田村高広



とき　十一ヵ月の長期休暇だった、別に自ら求めたわけじゃない、木下惠介監督が自分以外の作品に出さず、しかも「二十四の瞳」で彼のシーンを撮り終えたのが昨年の六月、木下監督は「二十四ー」以後一本も撮ってない、それがやっと「君一人」にかかることになった、明日はその衣裳合せが大船である、その前日の午後

ところ　成城町高台のはずれに彼の家はある、東京辺には少い赤松の木の間ごしに喜多見町の低地が見える、その先は多摩丘陵、丹沢山塊、箱根の山々、そして快晴の日は富士がクッキリとそれらの上に浮び出る、そういう意味からいえばこゝも〝富士見台〟あるいは〝富士見ヶ丘〟の一つ、敷地は七百坪、そのうち約四百坪が西南に向い卅度ぐらいの勾配で落ちている、この斜面だけは庭の一部だが手入れがしてない、自然のまゝの林とクサムラである、その感じがいかにもナイーヴでポーズのないこの家の若主人にピタリとしている、約束の時間、彼は庭先のベンチに出てポーッとけむった西の方の山々をながめていた、山々の彼方に彼のふるさと京都がある、膝の上に置いたのは「君一人」のシナリオだ、しかし彼の〝君一人〟は東京にいないようだ、もう二年にもなるが彼には喧騒なこの都会がなじめない　そして西の方にはまだきのうの思いで学生時代の青春があり、この日の空のように懐かしくモヤッている

「（い）らっしゃい」若いときの阪妻にますます似て来る人なつこい眼が笑って口のまわりの筋肉がほころぶ、優しい感じの美青年だ、しかもそれを意識したイヤ味がない、木下監督が惚れ込んだ理由もうなずけるというものだ、「こんどの仕事〝君一人〟筋は軽いけど気は重いんです、オール・ロケでしょう、ぼくセットで五、六人の見物人に見られてても上っちゃうんですよ、それが都内ロケになると黒山の人でしょう、その中で高峰さん（秀子）と芝居するなんてー」思っただけでも空恐ろしいというのである、空恐ろしいことが明日から始まる、仕事の話をわざわざここまで聞きに来たんじゃない、何とはなしの雑談をする

「（ガ）ールフレンドですか、できたんですけど、東京の女の人ぼくにはどうも苦手ですよ、ハッキリしてますね、男に負けないくらい常識もあるし…」しかし、この十一ヵ月もの長い間、街へ出るといえばたまに試写会に行き、帰りは大叔父の店でウィスキーを飲むくらい、銀ブラ一つやらない彼である（一度人から教えられて銀座裏のバーに行き、翌晩も通ったらボラレて数万円の勘定が来た、それ以来銀座八丁は〝鬼門〟となった）碁、将棋、マージャンも知らず、パチンコにも興味ない、ダイスを振ってもいゝ〝カモ〟になるだけ、まして競輪、競馬は全然だ、そういう彼にとってシャキシャキの東京ムスメが苦手としても無理はない

〝ふるさとは遠くにありて想うもの〟（室生犀星）京都を引払い二年前に一家でこちらへ移ったその土地は成城町で東京の西郊しかも西の方がひらけたこの家を選んだ（なんてのはこちらのコジツケであるが）

東京ムスメは苦手

そら空しいロケの人だかり　『君一人』の撮影を前に怖じ気

映画やぶにらみ

筋と解釈に新鮮味

日活「六人の暗殺者」

▽…坂本竜馬暗殺をめぐる明治維新の一つの裏面史、従来は竜馬は見回組に暗殺されたことになっているが、これはいわば新解釈で竜馬が幕府との合戦に反対したところから、味方であるべき薩摩藩から六人の刺客を向けられたことになっている、脚本菊島隆三、演出滝沢英輔

▽…竜馬（滝沢修）に心酔していた土佐藩士（島田正吾）が必死になってその暗殺者たちを探しもとめる、最初目当てをつけた男も見込違い、最後の希望近藤勇も犯人ではなかった…このように復讐にとりつかれた一人の男をしつように掘下げているのだが、時代背景の解釈が新しいので大変目新しさが出ており、彼が倒幕運動の内面を知るにつれて、次第に倒幕運動そのものに対して批判的になっていくあたりも面白い、いわば講談本的ネタを使いながら、こゝまで新鮮味を盛上げた点で菊島脚本を高く評価したい

▽…こうして彼が最後に追いつめた暗殺者の首領（辰巳柳太郎）は上野の彰義隊との合戦で戦死したと知りボウ然とする、やがて、年移り、竜馬の墓前で二人は偶然にめぐり合う、その時の首領は火薬のため盲いていたのだが、暗殺事件の真相が洩れるのをおそれて彼も合戦の最中殺されかゝったのを知る、つまりは暗殺者の末路といったものを静かにうたっているわけだ、このラストの島田、辰巳の立回りは特に迫力が溢れている、キャストも豪華で大衆的な興趣も十分、これもまた滝沢・新国劇作品の成功作といえよう（静）



【写真はその一場面、中央が島田】

新人スターの断層

各社、ニューフェイス掘出しに躍起

〝歌劇団〟引抜も一段落　今年は〝十代〟の養成　しばらくブランク時代？



久我美子　杉葉子　角梨枝子　島崎雪子　若尾文子　岸恵子　香川京子

昭和廿二年東宝で行った第一期ニューフェイスの募集以来、邦画各社では毎年有望な新人を掘り出そうとこれらニューフェイスの募集に熱を入れているが、案外大スターというのは生れてこないようだ、というのがこれらスターの育つ会社がその年によって違い、昨年は東宝で育ったが今年は松竹だったという新人の断層もあるといったもので、いわばついてる年とつかない年があるともいえるようだ、そこでニューフェイスの断層から最近の傾向を見てみると…



瑳峨三智子　筑紫あけみ　三笠博子

まずこの断層を当てたのが東宝で廿二年の第一期では久我美子、若山セツ子、木匠マユリ、塩沢登代路などを掘り当てたほか、廿年に入れた浜田百合子、中北千枝子を売り出してニューフェイス時代を謳歌した、従って廿三年、廿四年もこの点だけは東宝の天下で、直系の藤本真澄プロデューサーが廿三年に杉葉子、廿四年に角梨枝子続いて廿五年には島崎雪子とスターを生み出したから、他社の新人発掘担当はジダンダふんでくやしがったわけだ、もっとも他社とても東宝の発展振りを腕をこまねいて見ていたわけではなく、松竹が津島恵子をバレエの教師から見出し、月丘夢路を大映から引抜くという非常手段もとっていたわけだ

従ってこゝらになると狙われたのは宝塚や松竹といった歌劇団の娘達が主になって来ている、つまり大穴は歌劇団ということが映画界のにらんだ断層だった、そして廿四、五年にかけて宝塚から乙羽信子、越路吹雪、久慈あさみ、淡島千景、宮城野由美子、OSKから京マチ子、SKDから桂木洋子、淡路恵子などが東宝、松竹、大映、新東宝各社に流れこんだ、つまりこの廿四、五年という年は輸入過度で、本来のニューフェイスは育つひまがなかったものとみえる、そしてしばらくこの新人募集で目立った女優がなかった年が続き、それが廿七年までまったく新人のブランク時代といわれていた

しかしそのころになって大映がやっと若尾文子、南田洋子、松竹が岸恵子、北原三枝、紙京子、新東宝が香川京子、左幸子、東宝が有馬稲子、青山京子、東映が瑳峨三智子といった新人を売出すことに熱心になったのだ、それから現在までこれといったスターは育っていないが、わずかに新東宝で安西郷子、筑紫あけみ、久保菜穂子、東映から中原ひとみ、三笠博子、天路圭子などを売り出しているのが有望といえるだけである

さてそれでは卅年度はどうかと各社を展望してみると、松竹はニューフェイスではあきたらず古賀さと子、近藤圭子、熱海サチ子といった少女歌手を専属に抱えるほか、東宝は少女雑誌のカバーガール星野世紀子など八名をティーン・エイジャース・グループとして売出す予定だし、大映もまた高校生を物色して「娘の人生案内」で五名を出演させて育てるという、また新東宝も目下ニューフェイスを募集しているが、すでに二千名からの応募者があるという話だ、つまり卅年度はティーン・イィジャーを育てる年だといえそうだ

これについて東映斎藤俳優課長は「各社とも一応余裕ができたから十代の少女を育てることになったといえますね、といって十代ものを製作することにはなりませんが…」と語っているが、さてこのなかから何人のスターが育つものかこればかりはオシャカ様でもご存知ないというところだろう

「日輪」を舞踊とバレエで上演

西崎緑研究所と小牧バレエ団が



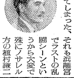
西崎緑　小牧正英

一昨年東映でコニカラーで映画化された横光利一原作の「日輪」がこんどは西崎緑舞踊研究所および小牧バレエ団でそれぞれ上演されることになった

このうち西崎緑の方は三年ごしのプランだそうで、彼女が三年前某氏から横光の署名入り、桐箱に納まった自家製の豪華本を貸して貰い、非常に感激して「これこそ多年探し求めていた日本的バレエにもっとも適した作品」と考え、以来慎重にプランを練り、来る七月、研究所の廿五周年記念の催しとして新橋演舞場で上演することになったもの、脚色は飯沢匡、作曲は飯田信夫、装置は伊藤熹朔がそれぞれ担当することになっている

一方小牧バレエ団を首宰する小牧正英もかねがね新作の材料を漁っていたが、たまたま西崎緑から同じ本をまた借りしてこれに感動、ぜひバレエ化したいというわけで彼女と話し合い、小牧の方では二た月遅れて九月末、本年度の芸術祭参加作として日比谷公会堂で上演を予定している、なお西崎版「日輪」には映画界から大物俳優の参加が予定されているが、まだ決定はしていない

はと笛



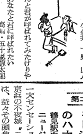
▽…目下東映で製作中の十八番シリーズ映画「飛燕唐手打ち」は三部に分かれてはいるものの、普通作品と同じで撮影日数が細かく限られている

▽…そこでこのところ石原均監督以下、最後の追込みで三日間徹夜を続けてしまった、それも浜離宮でラストの乱闘シーンというから大変で殊にノサレル方の植村謙二郎などは〝泣っつらに蜂〟の態だった、俳優だって夜になれば眠くなる、それも三日間となればカンシャクもおきようというものだ、それで打つ手も強くなり遠慮会釈もなくなって来て彼はコテン、コテンにやられるという寸法だ、すっかりノビた彼「こんどはプロレスの映画ができても絶対やらないぞ」とはよほど痛かったのだろう

【写真は植村謙二郎】

名選 都々逸

石井きんざ選



死ぬときゃ一緒とあれほど決めた　一を二つに義理がさく　新宿・琴之助

すねた素振りが又可愛いくて　じらせてみたり怒らせる　小金井・下野山人

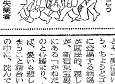
奥さんと君が呼ばれてみたけりゃ僕も　あなたと君に呼ばれたい　高崎・五十嵐源太郎

風にゆられて蝶々も来たに　花を咲かすにゃまだ早い　鎌倉・井口静波

◇

ずるい男で利口な男　誰より出世をした男　選者

おしゃべり横丁



生活苦　もうしょうがない、子供の修学旅行についていこう　―失業者

◇劇団演技座再建第一回小公演　一幕もの二本、土井行夫作「ガード下の諸英歌」北條秀司作「防風林」演出北鍵二、廿七、廿八、廿九日、芝中労委会館、開演六時、卅日マチネー一時

お遊び教室

お遊び、といっても芸者遊びや吉原通いの話ではない。もっと上品で眼や口や手でふれて、気分を遊ぶ、いわば通人の遊び所を集めたのが、題して〝お遊び教室〟なのである。

第一課　洋酒に止めを刺すはカクテルNO55だということ

語り相手が欲しいとき、フトコロ手して入って行けるし、座わればそこはかとない親和感に満ち、隣の客やバーテンがいつか十年の知己のようになる。そんな感じのバーがあったら、洋酒ファンならずとも一度は覗いてみたくなるだろう。ちょうどゴーゴリの「どん底」に登場する酒場のように、高級だが庶民的、親しみ深い舶来居酒屋が、新宿東宝裏、末広亭の筋向いにある「かねだ」だろう。ほのぼのと心暖まり、文芸や映画を語れば、憂いも悲しみもケシ飛んでしまうこと請合いだ。うす暗い照明の中に、沈んでいるのはカウンターとテーブル。壁面の花一つもクラシックなら、店全体の感じは新劇の舞台のようにシャレている。二人づれで行っても少しもおかしくはない、ロマンチックな雰囲気もあるから、同伴ならこの店専売の「カクテル・ロマンス」でも飲むといい。トリス、ニッカのストレート40円、ラム、ブランデー、コニヤック、ジン50円、独得のカクテルNO55は、マンハッタン、マルチンなど青臭いものとはケタ外れの美酒、この店独得の味と香りだ。

第二課　色気の殿堂「ニュージャパン」のハナし

鶴見駅西口花月園寄り　ニュージャパン。

一大センセーションを巻き起した京浜の不夜城〝ニュージャパン〟は、益々その頭角を表わして、街にトピックニュースをまいた。並いる美女群は、濃艶型、純情型、とありとあらゆるスタイルの女性が、もの足りるサービス攻勢に、サスがの此の世界の通人もタジタジの態。若い人など、あまりのサービスにヘキエキしないよう御要心。フロアも広いし、踊るリズムも楽しく、連日豪華ショウも見ばえがあって面白く、それでいて、ノーチップの最低料金ときては、京浜随一の歓楽境を誇るのも当然銀座級の女性が、上品なお色気をムンムン発散させてくれるので、絶対楽しめる。まさに女護ヶ島といった感がある。

第三課　パチンコを合理的に楽しみ景品を獲得する方法

ほんのり酔ったが、さて自宅へ帰るにはまだ早い。それに一杯飲んだ後のことだ。奥さんの気分をつくろうにも、ちょっとしたお土産が必要なんだが、フトコロ具合はそれを許さぬ、さてどうしようか、と考えたら、都電か国電か地下鉄で、神田須田町まで行き給え。交叉点の角に、キャバレースタイルの豪華な店、逆さパチンコで有名な「寿」があるから、先ず玉を50円買うべし。穴の入り具合が極るいいので、奥さんが年増美人のそれでも思い浮べながらハジケばチン！　ジャラジャラ、二度や三度は続けざまに出るだろう。ふえた分を別にしまって、最初の元手、50円の玉でまた始める。ふえた分をまたしまう。資本金の二十五個が無くなる迄楽しむには一、二時間は充分かかる。ふえた分を数えて豪華な景品を貰えばいい。交換率が安いから、食用油でも味の素でも奥さんの喜びそうなものを先ず貰い、次に子供用のキャラメルと最後に自分のタバコを貰う。どんなにネバッテも衛生設備がいいから頭が痛むようなことはない。機械はマツヤ式数百台、まずパチンコの王座といっていい「寿」のお遊びは第三課である。

第四課　コロリとした楽しみには「トロイカ」を使う事

心に決めた女性があるとする。彼女の方も、大たいはOKなんだが、チャンスがない。下手に旅館などに連れ込めばスケ平と思われるし、といって、料亭へ行くにはチト財布が許さない。こんな状態で行きつ戻りつのアベック散歩に疲れたら？　〝カクテルでも飲もうか〟と誘ってみることだ。彼女が始めてならなおのこと、既に経験があればほんのり酔った後のロマンスを期待するだろう。迷わずにバーに入って「トロイカ」のウオトカフィーズか、ジンの香りに徒った火の接吻でも注文するといい。口当りがよくて、体の芯から気持よく酔わせる酒は今流行のトロイカだ。自宅へ誘ったら、近所の酒屋で買えばいい。有名店ならどこでも売っている。その道の権威ヒヨードシェフ技師の創成になる逸品である。

第五課　もつ焼で精をつけるには？「かなざわ」で



酒をのむと、兎角シャベリたくなるウルサ型のお楽しみは、馬を合わせて一緒になって喋ってくれる一対一の気分にある。こんなウルサイご仁には、新橋烏森の大衆酒場「かなざわ」に行くといい。竹を割ったような気性の主人の面白い風流譚でも聞きながらの杯一はいいとも楽しい。もつ焼、煮込みを専門に売り出した大衆酒場だが味は天下の絶品といっていい程のもの。もつ焼のタレ一つにしたって、到底他店で真似られない。酒とよく合った味は大したものだ。普通の店の四五倍もあるデッカイ串焼が、一本20円、レバ、タンなどモツなら何でもあるからこれからシケ込む手合いの精力補強にももってこいだ

第六課　銀座マンでも洋酒ファンなら必ず行くべきバー

下町でバーの本格調をゆく店といえば、錦糸町駅前通りのスタンド「ローズ」に止めを刺す。銀座は勿論、このまま世界の一級都市にもって行っても決して恥じやない立派な店だ。しかも、女性が美しく、渋い北欧調の店内に一点の色を添えれば、スコッチを始め世界の一流酒をズラリと揃えた酒棚がぜいたくな洋酒ファンを喜ばすほのかに光るランプ風の照明も厳じよく、特に賞讃したいのはバーテンが全国カクテルコンクールに第二位入賞というその道のベテランであることだ。どんな小むつかしいカクテルでも、即座に作ってくれ、しかも味についてのセンスがいい。洋酒ファンなら、銀座マンでも一度は行っておかなければならぬといっていいバーの本命である。

第七課　色気の放射能に当てられて十年若返える

キャバレーでネチョネチョするのは気が進まぬが、酒を飲むからには多少の色気がないとうまくない。さわらないまでも眼の法悦ぐらいは楽しみたいご仁は、新宿不二屋裏の酒場「セルパン」に行くといい。あそこのふくらみが、チラッ！　とみえることは事実、横腹までスウッ！と割れの入った揃いのドレスを着て、歩く度に太モモがこぼれ落ちそう。腰をかければヒップまでは見えるかも知れぬという、色気の放射能娘がサービスしてくれる。実行しては体にさわる老らく組でも、この放射能に当るだけなら太陽燈ぐらいの効果はある。きっと十年は若返えるだろう。安い店でマンハッタン一九〇円、舶来のジンフィズ一八〇円、これ以外サービス料などとらない。

第八課　洋酒とお好み焼35円で酔えるバーとは？

銀座八丁目ニッカバー



宵闇迫る頃ともなれば、恋しいのは茶渇色をした魔法の液体？…だが、女性の沢山いるところに行けば、目の飛び出る程予算の出る事は必定。女っ気がなくても美男の揃っているところなら銀座八丁目資生堂同側のニッカバーがいい。日本一安いと、自他共に許している一杯35円のニッカのストレート、45円のハイボールが、いずれもオツマミ付、棚には各国洋酒をはじめ、ニッカ製品がズラリ壮観を呈している。注文によって変った洋酒店のお好焼というのがある。一見に値する代物。いよいよ夏場所も始まり、テレビを見ながら、六、七間もあるカウンターで、チビリチビリも乙なもの。こんな状態なので、常連化するお客も多い。営業時間は、午後三時から、終電近くまでだから、ゆっくり利用出来る。